

経営比較分析表（令和5年度決算）

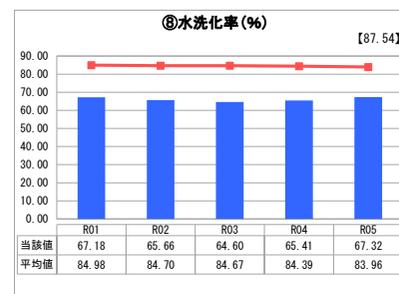
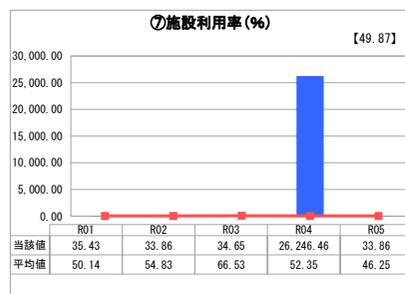
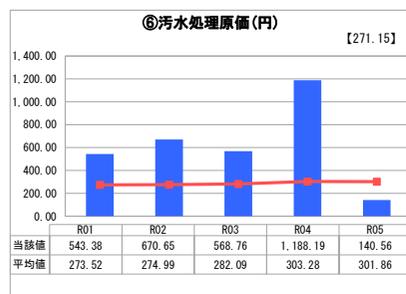
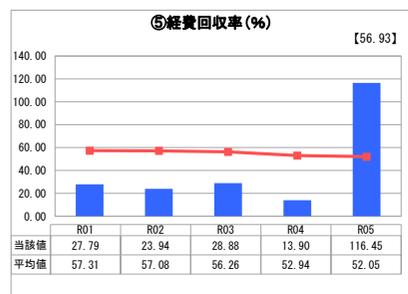
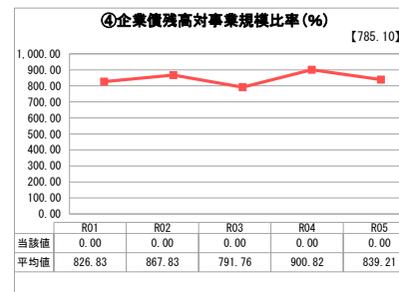
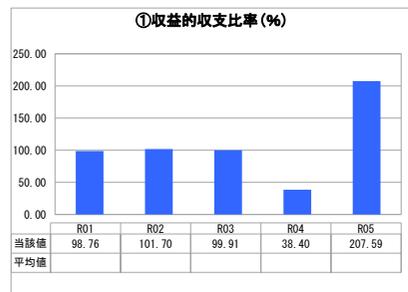
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.84	100.00	3,360

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,549	29.18	1,046.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
257	0.12	2,141.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
R6年度からの公営企業化に係る打ち切り決算により未払いが生じたため、数値上は前年より高くなっている。

④企業債残高対事業規模比率
一般会計からの負担以外の地方債残高はないため、比率として表れていない。

⑤経費回収率
R6年度からの公営企業化に係る未払いにより数値上は前年より低くなっている。経営の健全化のため、経費の効率化及び適正な使用料収入の検討が求められる。

⑥汚水処理原価
R6年度からの公営企業化に係る未払いが生じたため、前年より低くなっている。経営の健全化のために、適正な使用料収入の確保や経費の効率化が求められる。

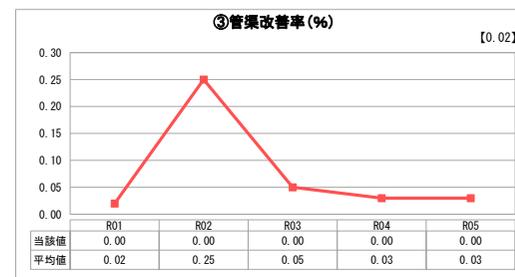
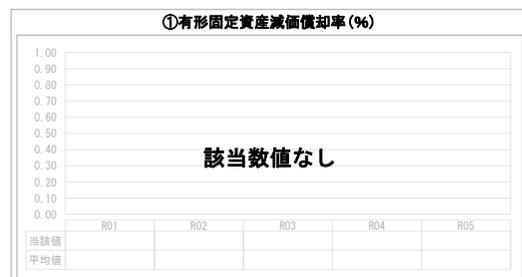
⑦施設利用率（※R4数値は正しくは「34.65」）
平均より低い水準で推移している。利用率向上のため地域住民への推進を今後も進めていく必要がある。

⑧水洗化率
処理区画内人口・利用者の転居によりわずかに変動する。水洗化率向上は収益の増加へ直接結びつくため、健全な経営に向け地域住民への施設利用の啓発・推進活動へ一層取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
本町の農業集落排水事業はH16年度に併用開始し、現状更新が必要な管渠が無いため更新は行っておらず、0%となっている。今後の老朽化や修繕の需要に備え、投資計画を事前に立てていくことが必要であると考えられる。

2. 老朽化の状況



全体総括

R6年度より公営企業化するにあたり、R5年に公営企業会計移行業務委託費が発生し、その財源となる一般会計の繰入金があったことにより収入が増加した。また、打ち切り決算による未払い金の増加のため経費回収率が一時的に増加している。

経営について、高齢化に伴う使用人数の変動により使用料が減少傾向にあり、今後も使用料の適正化の検討及び維持管理における経費の見直し等、今後も引き続き行っていく必要がある。

将来に発生する施設の老朽化などの問題については、現在は法定耐用年数内であるが、将来を見越した総合的な計画に沿った事業運営が必要となる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。